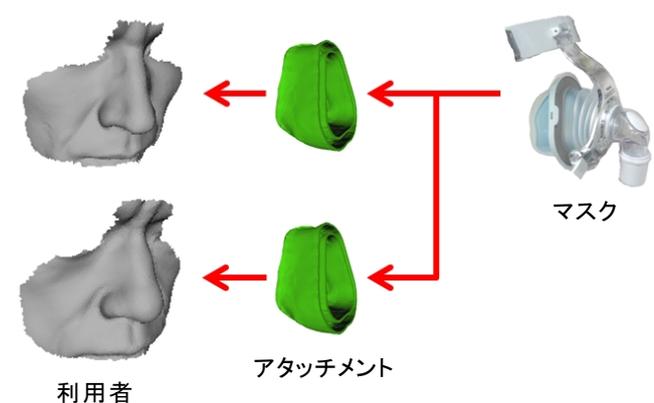


発明の名称			
マスクアタッチメント、マスクアタッチメントの製造方法及び非侵襲的陽圧換気用マスクの装着方法			
技術分野		利用分野・適用製品	
<input type="checkbox"/> 電機・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 情報・通信 <input type="checkbox"/> 有機材料 <input type="checkbox"/> 金属材料 <input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input type="checkbox"/> 土木・建築 <input type="checkbox"/> 農林・畜水産 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 機械・加工 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> 無機材料 <input type="checkbox"/> 輸送 <input type="checkbox"/> 生活・文化 <input type="checkbox"/> 繊維・紙 <input checked="" type="checkbox"/> 医療・介護	
		・医療福祉分野 ・在宅などにおける非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)用のマスク	
技術情報			
詳細資料： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 サンプル： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見学： <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 実施権許諾実績： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 事業化実績： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 その他：			
従来技術の課題・問題点等			
睡眠時無呼吸症候群など、呼吸に関する患者に対する療法のひとつとして非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)が実施されていますが、厚生労働省の報告書や学会の白書などにおいて、NPPV で用いる鼻や口を覆うマスクに起因する合併症が報告されています。マスクの多くは海外の企業が開発しており、日本人の顔に合いにくいことや、空気漏れを防ぐためにマスクを顔に強く押し付けてしまうことなどが課題とされています。			
本発明により解決したポイント			
・顔やマスクの3D形状に基づいて形成する「マスクアタッチメント」により、マスク装着時の使用感が良好となり、皮膚障害等の合併症の抑止や顔への圧迫軽減などに寄与する。 ・ネーザルマスクやフルフェイスマスクなど複数の種別に対応した構造や、顔への圧迫を軽減する構造などについて検討し、さまざまなマスクへの対応可能性を提供する。			
技術の概要(構造・動作等)			
・利用者の顔の3D形状、およびマスクの3D形状をもとに形成したアタッチメント ・利用者の顔とマスクとのあいだに配置され、マスクの一部を保持するマスク保持部と、利用者の鼻(または鼻と口)を覆い、鼻(または鼻と口)の周囲に当接する装着部、とを有するアタッチメント ・複数のマスク種別に対応するための、アタッチメントにおけるマスク保持部の構造 ・中空構造や蛇腹構造など、アタッチメントにおける顔への圧迫を軽減する構造 ・利用者の顔やマスクの形状計測工程、アタッチメントの形成工程とを備えるアタッチメントの製造方法 ・三次元印刷装置により形成されたアタッチメントを備えた非侵襲的陽圧換気用マスクの装着方法			
図・写真・特記事項等			
 <p>利用者の顔とマスクの間にアタッチメントが配置される様子を示す概念図。アタッチメントは緑色で、マスクは透明で、利用者の顔は灰色で示されている。</p>		 <p>ネーザル用 フルフェイス用 Fig.2 マスクアタッチメントの設計例</p>	
<p>Fig.1 マスクアタッチメントの概念図</p>		 <p>Fig.3 3Dプリンタによる試作</p>	
特許情報		関連特許情報	
登録番号/公開番号: 特開 2018-102349 出願日: 平成 28 年 12 月 22 日 (2016 年) 登録日: 権利者/出願人: 大分県		登録番号/発明の名称:	